

<p>本年度の重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主体的に学ぶ姿勢の醸成                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒を主体とした教授方法の研究と情報共有</li> <li>(2) グループワークやプレゼンテーションを活用する等、対話的な学習の推進</li> <li>(3) 授業規律の確立に向けた情報共有</li> </ol> </li> <li>2 自他を尊ぶ心と帰属意識の育成                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自他の人格を尊重させ、説得・納得・辛抱強く心に響く生徒指導の推進</li> <li>(2) 自他の考えや活動を認め合わせ、学校への帰属意識を高揚させる方策の探究</li> <li>(3) 生徒の特長の把握と情報共有に努め、自己実現のための支援体制の確立</li> </ol> </li> <li>3 変化に対応できる人づくりの推進                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職業観、勤労観、倫理観の醸成と合理的かつ創造的な問題解決能力の育成</li> <li>(2) 外部講師、出前授業等の活用を通して専門性の高い技術・技能習得の推進</li> <li>(3) 工業の各種競技会やコンテスト、地域連携活動、部活動への積極的参加によるコミュニケーション能力と自立心の伸長</li> </ol> </li> <li>4 工業高校の魅力発信の充実                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公式ホームページ、SNSを利用した魅力の発信</li> <li>(2) 授業公開を活用した魅力の発信</li> <li>(3) 近隣中学校との連携による魅力の発信</li> </ol> </li> </ol>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>P T A活動の充実  (総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事及びP T A活動への参加者、協力者を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P T A活動に参加しやすくするために会合の充実をはかるとともに、意見を集約し、行事に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の意見を委員会から集約できたため、P T A社会見学会をはじめ、参加者は前年より増加した。</li> <li>・式典や朝礼等は順調に実施できている。</li> <li>・保護者への通知をより確実に届くようにして欲しい、という要望が今年度も出ているため、方法を検討している。</li> </ul>
<p>教育活動の安定  (教務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務関係業務の円滑な運営</li> <li>・研修対象者への適切な支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の教務関係業務を把握し、分掌内外のサポート体制を築く。</li> <li>・校内研修年間指導計画書、校内研修計画書を把握し、研修者へのサポートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職への報告、相談を行い、指導、助言をもとに他分掌へのサポートを行うことができた。また、課内では、他教員からのアドバイスや、過去の資料を調べるなど、必要な時期に、会議の開催や提出書類の起案を停滞なく行えた。</li> <li>・校内初任者研修では、進捗状況を把握し、初任者へのサポートを行うことができた。また、報告書等の提出についても、提出期限内に、起案、提出することができた。</li> </ul>
<p>身だしなみを整え、明るい笑顔と挨拶の励行  (生徒指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な挨拶</li> <li>・身だしなみを整える</li> <li>・節度のある言葉遣い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校門での登下校指導時に、挨拶指導を行う。</li> <li>・社会人になる準備、就職試験などにふさわしい行動・服装・言葉遣い・マナーなど日常で意識できるよう指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の挨拶は比較的できているが、元気な挨拶とまではいかない。</li> <li>・身だしなみ指導において、個別指導となる生徒が固定化している。</li> <li>・多くの生徒が「節度のある言葉遣い」ができている。</li> <li>・学校生活において継続した指導が必要である。</li> </ul>
<p>モラルやマナーの向上  (生徒指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルの向上</li> <li>・交通マナーの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し、スマートフォンなどによる情報の取り扱いについての教育を行い、啓蒙活動を実施する。</li> <li>・外部講師を招聘し、自転車マナーについての教育を行い、登校時においてマナー指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでのトラブルは減少傾向にあり、使用方法について考えることができるようにはなってきた。個人情報の投稿など悪意はないが危険に繋がる可能性について指導を徹底したい。</li> <li>・交通事故の発生件数は、昨年度より減少傾向にある。今年度は『200日間無事故無違反ラリー』の達成など交通マナーに対する意識は見られたが、継続した指導は必要である。</li> </ul>

いじめ防止対策の推進  (生徒指導課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止に係る取組の充実</li> <li>いじめの早期発見、適切な事案対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会やホームルーム活動において、いじめ問題を主体的に考える機会を設ける。</li> <li>いじめアンケートの実施方法や、その後の対処のあり方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・嫌がらせでの指導は1件。相手を思いやる気持ちが欠けており、悪ふざけの延長から発生した。適切な声掛けを続け、未然防止の指導を継続したい。</li> </ul>
魅力ある学校行事の企画・運営  (生徒会課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期の計画・立案</li> <li>生徒会活動の活性化</li> <li>部活動の活性化</li> <li>学校内外でのボランティア活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の情報交換を密にし、諸分掌との連携した学校行事の計画・運営。</li> <li>生徒会執行部の生徒が自ら考え、行動できる環境の整備。</li> <li>自発的に部活動・生徒会活動・ボランティア活動に参加できる環境の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各生徒会行事において、おおむね予定通りに進めることができた。</li> <li>体育祭においては、生徒主体で競技説明を行った。文化祭においては、生徒有志による発表を、生徒が中心となって運営を行った。今後も、この流れを継続して取り組んでいきたい。</li> </ul>
計画的な進路指導の実践と個別指導。  (進路課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の希望・特性に応じた進路指導をする。</li> <li>就職一次試験の内定率、進学合格率とも90%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業情報・求人情報を学年会および生徒に適確に伝達する。</li> <li>シミュレーションを利用した進路指導を行う。</li> <li>生徒希望・特性に応じた進路指導を行う。</li> <li>就職・進学試験にむけ、学年ごとに進路指導やガイダンス・面接指導等を実施する。</li> <li>社会人としてふさわしい人物となるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人票・報告書のpdfを、印刷して情報を持ち帰り、自宅で検討できた。</li> <li>進路相談やシミュレーションを実施して、個々の生徒の希望・特性に合わせた、進路先指導をおこなった。</li> <li>進路手引きを活用して、LTや進路行事を実施した。企業情報・進路決定手順等を明解にし、適切に進路指導が実施できた。</li> <li>就職試験対策として、各種行事による進路指導や、面接指導をおこない、高い内定率であった。</li> <li>進学者には、個別相談指導により受験先を決定していった。</li> <li>2年生希望者には、インターンシップを実施し、就業意識の向上を図った。</li> </ul>
心と身体健康増進のための方策の研究と実践の充実  (保健厚生課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と身体健康増進のための方策の研究・実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会、講習会の充実、改善と新たな方策を研究・実践する。</li> <li>スクールカウンセラーの効果的な活用を検討し実践する。</li> <li>健康観察の効果的な方法について研究・実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラーによる月1回のカウンセリングを充実させ、相談生徒との継続的な面談を実施し、サポートを続けることができた。関係外部機関との連携で生徒支援の充実を図ることができた。また、カウンセラーとの事例研究を通じて、発達障がい理解を深めることができた。</li> <li>薬物乱用防止教室、AED講習会を開催し充実した講習会となった。また、1年を対象に熱中症予防対策教室を実施し健康管理の啓発ができた。</li> </ul>
学校安全に関する取組の充実  (保健厚生課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な環境作りへの取組を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急体制の確立を推進する。</li> <li>ゴミの分別の徹底、清掃活動の充実を推進する。</li> <li>生徒保健委員会において、安全な環境作りへの取組を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃道具の整備をし、日常の清掃活動を充実させることができた。ゴミの分別作業も保健委員を中心に徹底させるように努めた。また、体育大会時にミスト扇風機を設置したり、熱中症指数の計測を行い掲示したりすることで、健康管理の意識向上を図ることができた。学期ごとの安全点検で指摘された修繕箇所を中心に修理・整備を進めることができた。</li> <li>救急体制について職員への周知を徹底した。</li> </ul>

<p>安全で清潔な学校環境に努める</p> <p>(図書情報課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい図書館と魅力的な図書の充実を目指す。</li> <li>・校務支援システムに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の開館時間をできるだけ確保する。</li> <li>・話題性のある図書とリクエスト本の購入に努め、教室掲示の図書館だよりをカラー印刷して、新着図書紹介のPRを強化する。</li> <li>・2,3年生については調査書の印刷、1年生は指導要録の作成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月21日現在で、利用者が141日あり、延べ410名の生徒が利用しました。1日あたり約3名の生徒が利用しました。また、授業での利用も増加しました。</li> <li>・2月21日現在で、図書の貸出数は生徒156冊、職員194冊で昨年度3月末の貸出数より3割ほど減っている。昨年度は2年前より2割増加しているので5年間の平均並みの数字であった。読書意欲が出るようなPRを実施したい。</li> <li>・校務支援システムの導入においてSEによる初期設定のおかげで3年生の調査書を発行することができた。また、1年生の指導要録も作成できた。</li> </ul>
<p>本校の魅力の情報発信</p> <p>(工務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクール、中学校・保護者生徒学校見学会の充実を図る。</li> <li>・地域連携で本校を知っていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの中学生、保護者、中学校教員に参加してもらえるよう、本校の魅力を募集時に発信する。</li> <li>・リバーサイドフェスティバルをはじめ、地域のイベントに参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの中学生、保護者に本校への興味関心を持っていただけたと考える。10月の中学校・保護者・生徒学校見学会も昨年度の1.5倍の参加者があり、成功であった。</li> <li>・イベントへ積極的に参加し、地域に本校をアピールできた。費用対効果を考え、参加するイベントを精選していきたい。</li> </ul>
<p>基本的な生活習慣を確立する</p> <p>(1年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間・期限を守る習慣</li> <li>・授業を重視する態度</li> <li>・人間教育の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分前行動、提出物等期限の確認を習慣化させる</li> <li>・授業規律や態度について手厚く指導する。</li> <li>・挨拶、話を聞く態度、端正な身だしなみ、丁寧な言葉遣いなど、社会人としての常識を身に付けさせるために、粘り強く指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物に真剣でない生徒もいるが、指導すればちゃんと出せるので引き続き指導していきたい。また、一部の生徒を除き、遅刻・欠席は全体的に少ないので今の状況を維持したい。</li> <li>・授業規律は、年度当初に各教科の主任に依頼したため、授業中の私語などはほとんど見られないものの、居眠りが散見された。次年度以降の課題となった。</li> <li>・身だしなみと挨拶は、意識的にできるようになっている。特に身だしなみにおいては、申し分ない。しかし、言葉遣いや、場面に応じた判断においては未熟な生徒が多いので、今後の課題である。</li> </ul>
<p>充実した学校生活と社会性の向上</p> <p>(2年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナー、モラルを身に付ける</li> <li>・人間教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身に付けさせる。</li> <li>・提出物等期限を遵守する。</li> <li>・将来社会人になるにあたり、挨拶、聞く態度、身だしなみ、言葉遣いなど人間力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻等について、数値的な観点では変化は見られなかった。しかし、遅刻が多い生徒への指導は必要に応じて実施した。今後の変化に期待する。</li> <li>・体育大会や修学旅行などで生徒たちは非常に意欲的に活動していた。次年度の進路学習等でも意欲的に取り組むことが期待できる。</li> </ul>
<p>規則正しい生活習慣を確立するとともに豊かな社会性を身に付ける</p> <p>(3年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の確立</li> <li>・凡事徹底</li> <li>・進路実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束・時間・ルールを守る意識をより高める</li> <li>・挨拶、話を聞く態度、端正な身だしなみ、言葉遣いなど、社会人としての常識を身につける</li> <li>・情報提供や本人の希望把握に努め、保護者・学科と連携し、進路実現に向け指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒が時間や期限を守ることができた。しかしながら進路が決まり卒業間近になると、安心感から遅刻や欠席が目立ち始めた。</li> <li>・挨拶はよくできるようになった。話を聞く態度や身だしなみも、人に不快感を与えるようなことはない。しかし、言葉遣いに配慮が足りない生徒がいると報告を受けた。</li> <li>・本人の強い希望を優先するあまり、適正という観点を黙して進路選択をさせたことで、残念な結果を持ち帰る生徒が数人見られた。本人の適正と企業が求める人物像の相違を、丁寧に本人や保護者に伝えることが課題である。</li> </ul>

<p>・教職員の健康管理</p> <p>(安全衛生委員会)</p>	<p>・勤務時間の適正な管理</p> <p>・長時間労働による健康障害防止</p>	<p>・在校時間等の状況記録の集約結果等を安全衛生委員会で確認し、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、校長が面談を実施し、教職員の健康障害防止に努める。</p>	<p>・全体的としては在校時間40時間を超える教職員が減少傾向にあり、改善がみられた。一方、80時間・100時間を超える教職員も数名残っている。適切な役割分担や業務の見直し、スクラップ作業を行うなど、業務の削減や負担の偏りを無くしていく必要がある。</p>
<p>総合評価</p>	<p>1 主体的に学ぶ姿勢の醸成 ICTを活用した授業は増えてきたように感じるが、生徒が主体的に学習ができたかという点と足りない面も見受けられる。グループワークやプレゼンテーションの活用等さらなる手法の研究が必要である。</p> <p>2 自他を尊ぶ心と帰属意識の育成 支援を必要とする生徒への接し方は、現職教育を通して周知できたと思われる。ただ、生徒への声かけ等で不適切な表現が使われたこともあり、生徒に寄り添う生徒指導の推進が望まれる。また、交通事故は若干減少したが、交通ルールを守り、更なる安心・安全な学校づくりを推進していきたい。</p> <p>3 変化に対応できる人づくりの推進 始業式、終業式における校歌斉唱や、基本的な挨拶、返事等、基本的なコミュニケーション能力の向上があった。また、工業高校生ロボット大会での活躍もみられた</p> <p>4 工業高校の魅力発信の充実 ホームページの大幅な更新やSNSを利用した情報発信で、保護者や中学生に対し、本校の良いところを、大々的にアピールすることができた。また、あらたな取組として近隣中学校との連携を重視するために、中学校教員対象学校施設見学を実施した。7校18名の先生に来校していただいた。中学生に絶対に入学したい学校になるような魅力づくりをしていきたい。</p>		

イ 学校関係者評価結果等（平成31年度）

<p>学校関係者評価委員 (指導・助言・協議より抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は大変生き生きしており、先生方も熱心に指導されていた。</li> <li>・一宮工業の生徒は自信を持って行動していて素晴らしいと思う。</li> <li>・学校は、地域の人目によって評価される。「登下校のマナー」、「部活動や進路の実績」が重要になる。この点においても、一宮工業は素晴らしい成果を上げている。専門学科の学校に、これからの日本の社会をリードする人たちが集まるようにして欲しい。そのためにも小中との連携を充実させ「ものづくり」の面白さを伝えるべきだと思う。それを伝えるイベント等に積極的に参加し、情報発信をすることが大切だと思う。</li> <li>・実習に取り組む姿勢が良い。OBが教員になって戻ってきてくれて大変頼もしい。進路便りにも在校生が大学進学し、教員になって母校に戻りたいとあって大変うれしい。</li> <li>・同窓会、PTAが学校と連携をして、生徒の安全に向けて働きかけたい。</li> <li>・学校では、多くの先生方は学習面において上位の生徒に目が向きがちであると思われる。苦手な層の生徒をいかに変えていくかが大切である。また、中学校の思いを十分に汲み、しっかりと連携していくことが大切だと思う。</li> <li>・建設業界のみならず社会はAI化がかなり進んでいる。大型重機を女性が操作している時代である。AIへの取組に対して乗り遅れないようにする必要がある。</li> <li>・高校不適應の生徒をつくりたくない。夏休みの体験入学以外にも、実際に体験できる機会を少しでも多くしていただき、中学生に学校・学科のことをしっかり理解させて進学させたい。</li> <li>・生徒が、環境の整った中で学習ができ、保護者として大変うれしく思っている。他の保護者にも、是非実習をはじめとする授業の様子を見ていただきたいと思うので、是非、来年度に授業参観の機会を与えて欲しい。</li> <li>・第1回の時に気になっていた部室周辺もきれいになっていたので、きちんと指導していただいていると実感した。</li> <li>・生徒一人一人得意なところが違うので、勉強でも部活動でも何でもいので今以上に活躍の場のある学校にしていただきたい。</li> <li>・先生と生徒の距離感が近く、良いと思った。自分の娘が海外留学した際に「日本人はコミュニケーション能力に欠ける」と言われ、ショックを受けていた。これから外国の方も多く入学すると思うので、コミュニケーション能力の育成に力を入れてほしい。</li> <li>・生命保険の入り方などについても学習する機会を与え、卒業してからの生きる力についても指導をしてほしい。</li> </ul> <p>(1月29日(水) 質疑応答)</p> <p>生徒募集について (校名変更・学科改編)</p> <p>機械科・電気科・IT工学科が一括募集になるがメリット・デメリットを周知し中学生が正しく選択できるようにすることが必要。</p> <p>学校見学会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科はエアコンの効いた教室で実施できるが、本校は実習室等での見学体験になるので熱中症が心配される。実際に今年は体調を崩す中学生が多数出た。よって、来年度は時期を遅らせ10月にオープンスクール、11月に見学会を予定している。</li> <li>・今年の名古屋市内の私学はかなり集まりがいいと聞いているが、一宮市内の中学は公立志向が強い。</li> <li>・保護者としては子供の希望をかなえてあげたいが、経済的な理由で不安になることがあるが、入学してからの経費などが分かるとありがたい。</li> </ul> <p>実習服、安全靴等で入学時には普通科より高額になるが、教科書等は副教材がないので普通科より低額で済んでいる。</p> <p>本校の授業の様子と修学旅行について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や実習等大変充実している、このまま継続していただきたい。</li> <li>・修学旅行は学校選択の選択肢としては重要度が低いと思います。それよりも何を学ぶかが重要だと思います。</li> <li>・のびのびとしていい雰囲気での授業が展開されていたと思います。</li> <li>・修学旅行については、自分が高校生の際は学科で予算の範囲内で決めていた。</li> <li>・工業高校はお勧めだと思います。</li> </ul>
-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- |  |                                                                                                                                                                                                     |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・修学旅行は他校がスキーをやめていくのであれば、なおさら特色を出すために続けたいと思います。自分の子供もこれをきっかけにスキーに行くようになった。</li><li>・女性の先生の授業がみられてよかった。</li><li>・修学旅行については卒業しても続けられるものとしてスキーはいいと思います。</li></ul> |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

生涯スポーツとしてスキーを体験させることは大変意義のあることだが、時期的にインフルエンザが心配され、生徒だけでなく職員の健康管理にも不安があり、時期の変更を考えている。